

令和五年度 入学試験問題 国語（教員養成課程） 解答例

問一 二重傍線部 a、e のカタカナを漢字で書きなさい。（四点×五＝二〇点）

【解答】 a 幻 b 腐敗 c 左遷 d 凝縮 e 醸

問二 傍線部 A 「悠々自適」、B 「渾然一体」の意味をそれぞれ書きなさい。（五点×二＝一〇点）

【解答例】 A 俗世を離れ、心のおもむくままにゆったりと過ごすこと。

B 完全に混ざって一つになっている様子。

問三 傍線部① 「心あらむ人に見せばや」を現代語に訳しなさい。（二〇点）

【解答例】 情趣を理解する心のある（ような）人に見せたいものだ。

問四 傍線部② 「西洋の「実体の美」とありますが、これと対照されている日本の美には、どのような特徴がありますか。三五字以内で説明しなさい。（二点）

【解答例】 長く続かずすぐに消えてしまい、移ろいやすぐはかないという特徴。（31字）

問五 傍線部③ 「新古今和歌集」について、次の語句をすべて用いて、四〇字以上五〇字以内で説明しなさい。（二五点）

勅撰和歌集 後鳥羽院 八代集

【解答例】 鎌倉時代初期に後鳥羽院の命により、藤原定家らが編集に当たった勅撰和歌集で、八代集の最後の和歌集。（48字）

問六 傍線部④ 「四季折々の歌」とありますが、「四季折々の歌」に共通する特徴について、本文に即して二五字以上三五字以内で説明しなさい。（二〇点）

【解答例】 目に見えないものに思いを膨らませ、美を味わえるということ。（29字）

問七 〈春〉、〈夏〉の和歌について、次の問いに答えなさい。(一〇点)

(一) 波線部「ぬる」を次の例にならって、文法的に説明しなさい。(五点)

(例) 花も紅葉も^①なかり^②けり

①ク活用の形容詞「なし」の連用形 / ②詠嘆の助動詞「けり」の終止形

【解答】完了の助動詞「ぬ」の連体形

(二) 空欄 A・B に共通して当てはまるものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。(五点)

アこそ イぞ ウは エも

【解答】イ

問八 傍線部⑤「何処秋風至」を現代語に訳しなさい。(二〇点)

【解答例】どこから秋風は吹いてくるのか。

問九 傍線部⑥「壮士一去兮不复还」を書き下し文にしなさい。なお「一」は「一(ひと)たび」と訓じます。(二〇点)

【解答例】壮士一たび去りて復た還らず

問十 傍線部⑦「尾聯」とは何か、説明しなさい。(二〇点)

【解答例】律詩の第七句目と第八句目のこと。

問十一 傍線部⑧「聴覚、嗅覚、触覚など五感によって風景を感じ取り、感じ取った風景に自分の心を投影し」とありますが、これはどのようなことを表

しますか。「春曉」を例にして、六〇字以上八〇字以内で具体的に説明しなさい。(二〇点)

【解答例】鳥の鳴き声や昨夜の風や雨の音などから、庭の花がどのくらい散ってしまったかと思想し、「惜春」の情を感じ晩春の光景を愛でて楽しんでいること。(71字)

問十二 傍線部⑨「電子機器の普及やICTの発展に伴って、視覚情報が増える一方である。情報だけでなく、知識や理論、思考まで可視化されるようになり、分かりやすくなった反面、大切なものが失われつつあるようにも思われる。」とありますが、この意見について、あなたはどのように考えますか。具体例を挙げながら、二四〇字以上三〇〇字以内で述べなさい。(五〇点)

【解答例1】

ここ数年、社会の様々な所で急速にオンライン化が進んだ。動画サイトでは、様々な事柄に関しての動画が配信されており、知識や情報を習得することができる。これまでは一部の写真や文章の情報に限られていたものが、動画を通して臨場感が伝わるものも多くある。例えば、行ったことのない場所が映っている動画では、その場所に行った気分させてくれるものもある。しかし、それはあくまでも他人から発信された情報であり、自分自身の経験ではない。筆者の述べる大切なものは、自分の五感を働かせる経験を通して得られる想像力や感性ではないだろうか。その意味で、筆者の意見には賛成である。(276字)

【解答例2】

電子機器の普及やICTの発展があったとしても、これまでと同じように、想像力という大切なものは失われないと考える。古典の学習では、古語などの文字情報や絵・写真等の視覚情報などに基づいて、当時の人々の見方や考え方、感じ方を学んできた。当時の文化や風俗などは、こうした情報だけでは理解や想像がしにくく、古典の学習が不十分なものになると考える。また、古典に関しての興味関心を持ち続けることも難しいのではないだろうか。ICT等を活用することで、これまでの視覚情報だけではなく、動画などの視聴覚情報を活用することができ、それによって、古典の世界がより想像しやすくなるという利点があると考えられる。(290字)